

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：11/12～11/16

・11/12(月)

憲法改正論議、徴用工訴訟、北大東島沖で米軍機墜落、ペンス副大統領来日などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、憲法改正論議についてはやや問題の見られるものでした。

・11/13(火)

入管難民法改正案、ペンス副大統領来日、桜田大臣が謝罪、「職場放棄」発言の下村氏、片山大臣の看板問題、日露関係などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、入管難民法改正案については継続的な検証が必要と考えられるものでした。また、入管難民法改正案については検証者の所感を記しました。

・11/14(水)

日露首脳会談、国会論戦、入管難民法改正案議論、EU 離脱問題、陸自の砲弾が演習場外に着弾などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。また、国会論戦については検証者の所感を記しました。

・11/15(木)

日露関係、カリフォルニア州の山火事とトランプ大統領、外国人材受け入れ、サウジアラビアのジャーナリスト殺害事件、日テレヤラセ報道、千葉県で陸自が迫撃砲誤射、日韓首脳が立ち話、両陛下が厚真町を訪問などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、外国人材受け入れについては高く評価できるものでした。また、外国人材受け入れ、サウジアラビアのジャーナリスト殺害事件については検証者の所感を記しました。

・11/16(金)

外国人材審議入りできず、ふるさと納税ルールに戸惑い、移民キャラバン国境到着、北方領土問題で安倍首相「従来姿勢と矛盾しない」、中国で先端技術展覧会、新閣僚の資産公開、記者の入構許可証問題で CNN の主張認めるなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、外国人材審議入りできずについては他放送日との判断が必要と考えられるものでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年11月12日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：憲法改正論議、徴用工訴訟、北大東島沖で米軍機墜落、ペンス副大統領来日		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【速報】横浜通り魔事件で急展開、近くの71歳の男を逮捕 ・中国の独身の日セール ・死刑囚が別の殺人を告白し再び法廷へ ・15年に渡る着服で女性を逮捕 ・札幌市で煽り運転の男逮捕 ・憲法改正論議 ・国立公園「金華山」で不法投棄、逮捕されたのは神社の宮司 ・23Today <p>横浜通り魔事件 中国の独身の日セール 徴用工訴訟 千葉県八街市県立高校で高校生の頭に砲丸直撃 北大東島沖で米軍機墜落</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 ・ペンス副大統領来日 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法改正論議：結論→やや問題あり <p>先週TBSのCS番組で国会の憲法審査会の審議が進まないことについて下村博文憲法改正推進本部長が「憲法改正についてどう思っているのかということ率直に議論しましょうということさえ、議論しなかったとしたらそれは国会議員として職場放棄じゃないですか、と。」と野党を批判したことについて、二階幹事長が「特に野党の方々に物を言う場合はですね慎重の上にも慎重であってほしい。」とコメントしたとのことが伝えられた。</p> <p>また、スタジオでは雨宮キャスターの「たしかに下村さんの発言で野党が反発したら憲法の議論は遠のいちゃいますよね。」というコメントに対して星キャスターが「通常ですと、法律が出るとそれに対して野党が反論してやっていくっていうのが国会の議論ですけど、憲法に限っては憲法審査会っていうところで与野党一緒に運営しましょうっていうルールになってきているんですね。ところがその安倍総理がですね憲法審査会で自民党の案を提示するんだっていうところで運営に少し口を出してきたりして野党がまあ反発しているっていう状況なんです。下村さんが今度の人事で自民党の取りまとめ役になったわけですから下村さんがやるべきは与野党と一緒にやりましょうねっていう雰囲気を作るべきなんですけれども、いきなり野党批判からスタートするっていうのは、そのまとまるものもまとまらないって言うことですよ。」と答えていた。</p>		

このトピックに当てられた時間は 106 秒だった。

星キャスターの「通常ですと、法律が出るとそれに対して野党が反論してやっていくっていうのが国会の議論ですけど、憲法に限っては憲法審査会っていうところで与野党一緒に運営しましょうっていうルールになって来ているんですね。」というコメントであるが憲法審査会設置の根拠条文である国会法では以下のように定められている。

第十一章の二 憲法審査会

第百二条の六 日本国憲法及び日本国憲法に密接に関連する基本法制について広範かつ総合的に調査を行い、憲法改正原案、日本国憲法に係る改正の発議又は国民投票に関する法律案等を審査するため、各議院に憲法審査会を設ける。

第百二条の七 憲法審査会は、憲法改正原案及び日本国憲法に係る改正の発議又は国民投票に関する法律案を提出することができる。この場合における憲法改正原案の提出については、第六十八条の三の規定を準用する。

2 前項の憲法改正原案及び日本国憲法に係る改正の発議又は国民投票に関する法律案については、憲法審査会の会長をもつて提出者とする。

第百二条の八 各議院の憲法審査会は、憲法改正原案に関し、他の議院の憲法審査会と協議して合同審査会を開くことができる。

2 前項の合同審査会は、憲法改正原案に関し、各議院の憲法審査会に勧告することができる。

3 前二項に定めるもののほか、第一項の合同審査会に関する事項は、両議院の議決によりこれを定める。

第百二条の九 第五十三条、第五十四条、第五十六条第二項本文、第六十条及び第八十条の規定は憲法審査会について、第四十七条（第三項を除く。）、第五十六条第三項から第五項まで、第五十七条の三及び第七章の規定は日本国憲法に係る改正の発議又は国民投票に関する法律案に係る憲法審査会について準用する。

2 憲法審査会に付託された案件についての第六十八条の規定の適用については、同条ただし書中「第四十七条第二項の規定により閉会中審査した議案」とあるのは、「憲法改正原案、第四十七条第二項の規定により閉会中審査した議案」とする。

第百二条の十 第百二条の六から前条までに定めるもののほか、憲法審査会に関する事項は、各議院の議決によりこれを定める。

衆議院ホームページ (http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_annai.nsf/html/statics/shiryo/dl-dietlaw.htm)

星キャスターのこのような「憲法に限っては憲法審査会っていうところで与野党一緒に運営しましょうっていうルール」とは理想論はともかくとして少なくとも条文からは必ずしも言い切れるものではなく、通常と同様の要領で国会・議会運営を行うことも法的には妨げられていないため、星キャスターの発言は不正確なものである。よって放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」に照らすと不十分なものであると言える。

・徴用工訴訟：結論→特に問題なし

元徴用工の代理人弁護士らが今日、東京の新日鐵住金本社を訪れ、先月韓国最高裁が出した賠償命令に応じるよう申し入れましたが建物に入れてもらえず要請書を直接手渡すことはできなかったとのこと、代理人は今後資産差押の手続きも検討しているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・北大東島沖で米軍機墜落：結論→特に問題なし

今日の午前に沖縄県の北大東島の沖合でアメリカ海軍所属の FA17 戦闘攻撃機一機が墜落したこと、乗組員 2 人は脱出し命に別状はないということ、エンジントラブルが原因と見られ防衛省はアメリカ軍に対し情報収集を行っているとのことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 21 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・ペンス副大統領来日

NEWS23 週刊報告 詳細版

番組クロージングで雨宮キャスター「星さん今日はペンス副大統領が来日しているんですよ。」の発言に星キャスターが「そうですね、ペンスさんはあの、先月ね、中国に対して非常に厳しい内容のスピーチをした人なので、安倍総理との会談レベルでどういういいまわしをしてくる家ですね、それから中間選挙後のアメリカがどう出てくるかその辺注目ですね。」と応えていた。

このやり取りに当てられた時間は 26 秒で、このシーン、トピックについて放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

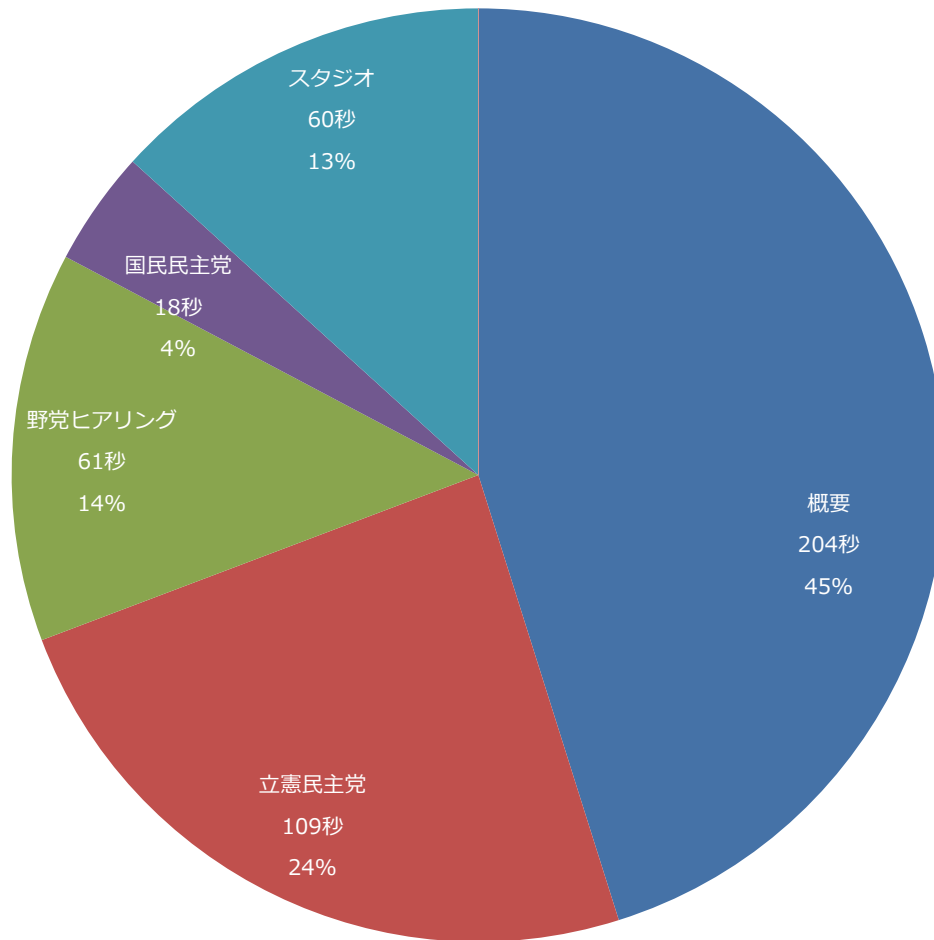
特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年11月13日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：入管難民法改正案、ペンス副大統領来日、桜田大臣が謝罪 「職場放棄」発言の下村氏、片山大臣の看板問題、日露関係</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・”二刀流”大谷翔平がメジャーの新人王 ・入管難民法改正法案 ・就活イベント ・ペンス副大統領来日 ・桜田大臣が謝罪 ・アメリカ代表メジャーリーガー原爆マーク投稿で謝罪 ・日大内田前監督ら立件見送りへ ・「職場放棄」発言の下村氏 ・片山大臣の看板問題 ・スポーツ報道 ・23Today ”二刀流”大谷翔平がメジャーの新人王 入管難民法改正法案 グッドウィル会長を在宅起訴 日経平均株価一時 800 円近く下げ 東京上野動物園シャンシャンひとり立ちへ ・天気予報 ・日露関係 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入管難民法改正案：結論→継続的なチェックが必要 <p>入管難民法改正案について取り上げられた。このトピックについて、入管難民法やそれを巡る議論についての概要が説明された場面、立憲民主党による国会質疑、野党ヒアリング、国民民主党による国会質疑、スタジオでの議論の場面が取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は459秒で、それぞれの場面の時間配分は以下の通りであった。</p>		



概要では、外国人労働者の受け入れ拡大を目指す入管難民法の改正案が今日衆議院で審議入りしたが外国人労働者をどれくらい受け入れる化や受け入れ体制が明確になっていないため野党側が批判を強めているとのこと、野党の採算の要求に答える形で政府は明日にも試算を発表することになったとのこととが報じられ、あわせて本会議での安倍総理の「現在、精査中ですが今回の法案審議に資するよう近日中に現段階での受け入れ見込みの数をお示しする予定です。」という発言が取り上げられていた。また、来年度の受け入れは最大で4万7000人程度になる見込みであることや、これまで就労目的での在留が認められていた外国人は医師や弁護士など専門性の高い職種のみであったところ、今回の法改正はこれをいわゆる単純労働とされる職種にも拡大し、農業、建設、介護など14分野を含めることを検討しているとのことと既に農業などの分野では技能実習生26万人が働いていること、加えて法案では技能実習生が新たに設ける2つの在留資格に移行し、より長く働ける仕組みも検討されているとことが伝えられた。さらに、去年の技能実習生の失踪者は過去最高の7089人いて法務省は把握できたおよそ2800人に失踪の理由などの聞き取りを行っていることや、その内容について野党側は今日も公表を求めましたが政府は慎重な立場であるとのことと伝えられた。

立憲民主党による質疑では、立憲民主党の山尾志桜里衆院議員の「これまで日本社会は日本で働く外国人の4割以上を技能実習生あるいは留学生と呼び、労働者として受け止めることすら拒んできました。家族保障、家族帯同、学校教育、永住資格、こうした根本的な問題から目をそらして外国人の受け入れだけをなし崩し的に拡大することはあってはなりません。」という発言が取り上げられたほか、以下に朱記した質疑が取り上げられていた。

逢坂誠二（立憲民主党衆院議員）「プライバシーに関するものは私はマスクしていいって言っているんです。なぜ出せないんですか、出さないとこれ審議の条件が成り立ちませんよ。現行制度を出発点にしているわけですから現行制度のどこに課題があるのか、その情報を政府が持っているのならそれを明らかにすべきじゃないですか、いかがですか。」

山下法務大臣「人物の特定、あるいは事業所の特定につながるということもございます、そうしたことを慎重に検討させていただいた上で、対応を検討させていただきたいと考えております。」

野党ヒアリングではヒアリングを通じて技能実習生が劣悪な環境で働かされているケースも明らかになったことが伝えられ以下にVTRでは以下に朱記した様子が取り上げられていた。

中国人技能実習生「2年前、会社働いて怪我しました。」

ナレ「この男性はダンボールを作る作業中に右手を機械に巻き込まれ指を三本失いました。会社側は一切責任はないとし、男性は治療費や今後の生活費をすべて自己負担するよう強いられました。」

中国人技能実習生「働きたいです、本当に。これらからどうしますか。考えられないです。」

ナレ「パワハラ、いじめを受け自殺未遂したと訴える実習生や時給が300円だったという証言もありました。」

中国人技能実習生「(職場の)皆に認めてもらいたいのになぜ? 悩んだ末、会社の上から飛び降りました。」

国民民主党の質疑では以下に朱記したやり取りが取り上げられた。

階猛（国民民主党衆院議員）「総理自ら技能実習生の生の声を聞く、などして現状を把握すべきではないか。」

安倍総理「それにつきましてはまさにこの法案を所管しております法務省において適切に対応していくことが正しいと考えております。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

雨宮塔子「結局肝心な点や詰の部分の部分を法案成立後の省令で定めるといのはどうなのでしょう。」

星浩「そうですね、まず受け入れの人数なんですけれども何人不足して何人受け入れるのか4万7000人と受け入れるっていうんですけれども将来展望どうなのかははっきりしませんよね。それと受け入れの体制でしょうね。日本語教育どうやって充実させていくのか、市町村とか企業がやるんですけどその費用負担とかどうしてくれるんだと、全くはっきりしてませんのでね、失敗ですよ。」

駒田健吾「審議するにしても材料が少なすぎですよ、他にも外国人の医療保険などの問題がありますよね。」

星浩「現行ですと保険に入っていれば外国人でも原則三割負担でお医者さんにかかれるんですけど、政府の方は見直しをするって言っているんですけど、どういう方向なのかははっきりしていない、これも省令で定めるといことなんですけれども、果たしてどうなっていくかということですよ。まあ外国人が働きやすい環境をどうやって作るかっていう問題にやはり真剣に向き合ってもらわないとなかなかこの問題解決しないですよ。」

この問題を巡っては自由民主党内からも反対論があったが、自民党の議員は議場ではどういう発言をしているのだろうか、今回の報道では自民党の議員による質疑は取り上げられていなかったためそのあたりは見えてこなかった。国会での議論と政党内での議論の重みや統治機構上の位置づけの違いを踏まえると、政党内での議論で

ある部会の様子を報じているから国会での発言は報じなくてもよいということにはならないだろう。今回の報道だけでは判断できないが、自民党議員や公明党議員からの質疑についての報じ方が野党に比べて手薄だという事態が続くのであれば、それは放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に反する事態になるといえる。また、以前紹介されていた自民党内での反対論は野党の反対論とは異なる観点からのものであったことを踏まえると、自民党議員による質疑を報じないというのは同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点でも報道を不十分なものにしてしまう恐れがあるといえるだろう。

・ペンス副大統領来日：結論→特に問題なし

来日していたアメリカのペンス副大統領が安倍総理と会談し貿易協定を巡って改めて注文をつけたことが伝えられるとともに、ペンス副大統領の「日米二国間の防衛機協定についての議論を前に進めましょう。」日米首脳会談の際に交渉開始で合意した貿易協定です。」や「日本との FTA に向けた歴史的な交渉を始める。」「アメリカの製品やサービスは障壁により日本の市場では公正に競争できていません。貿易協定は物品だけでなくサービスの分野も含むものになるでしょう。」という発言、対する安倍総理の「FTA とは全く異なるものであります。」という発言が取り上げられた。

またスタジオでは雨宮キャスターの「あの、貿易協定ではサービスの分野を含む、否か、で認識に違いがあるようですが。」というコメントに対して星キャスターが「そうですね、アメリカはまあ物品に限らずサービスもくもく含むってことなんですけど今日あのペンスさんの発言で気になったのはこの障壁バリエーションって言うんですけど、言う言葉ですねアメリカ例えば日本の、日本で車が売れないのはね、アメリカの大きい車が売れないのは日本の流通に問題があると思ってですね、だからその流通を改善しろと注文をつけてくる作戦なんですけれども、なかなか日本はそういう訳にはいかないということですよ、ここは意見が食い違うと思いますね。あの、アメリカは最終的には牛肉の関税引き下げを狙ってしまっていて、ただ日本は来年参議院選挙を控えていますんで、まあ時間稼ぎという作戦で、成果を出たい、アメリカと時間稼ぎの日本ということでせめぎあいになってくると思いますね。」と答えていた。

このトピックに当てられた時間は 171 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・桜田大臣が謝罪：結論→特に問題なし

ちぐはぐな答弁は野党からの質問通告がなかったため、とした発言を先日撤回した桜田オリンピック・パラリンピック担当大臣が今日になって初めて謝罪したことが伝えられるとともに、桜田大臣の「蓮舫議員の質問通告に対し生じている一連の状況について参議院予算委員会の委員長、理事を始め関係各位にご迷惑をおかけしたことについてお詫び申し上げたいと思います。」という発言が取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は 69 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・「職場放棄」発言の下村氏：結論→特に問題なし

自民党の下村憲法改正推進本部長が憲法審査会の幹事を辞退する意向を示していることがわかったとのが伝えられ、下村氏は先週 TBS の CS 番組で国会の憲法審査会の議論が進まないことについて職場放棄などと野党

NEWS23 週刊報告 詳細版

側を批判したため与野党双方から反発が相次いでいたことも合わせて伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 27 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・片山大臣の政治とカネ：結論→特に問題なし

片山地方創生担当大臣が代表を務める政党支部や政治団体が政治資金収支報告書に記載漏れがあった実態と片山氏の事務所は 540 万円もの記載漏れがあったことを明らかにしたこと、今後このような記載漏れが内容事務所の経理チェックの体制を整え再発防止に努めたいとしているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 25 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・日露関係：結論→特に問題なし

番組の終わりに星キャスターが「明日は安倍総理とプーチン大統領の首脳会談なんですけどまあ北方領土の問題ね、どういう議論になるか注目ですよ。」と言及していた。日露関係について触れられたのはこの発言のあった 8 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

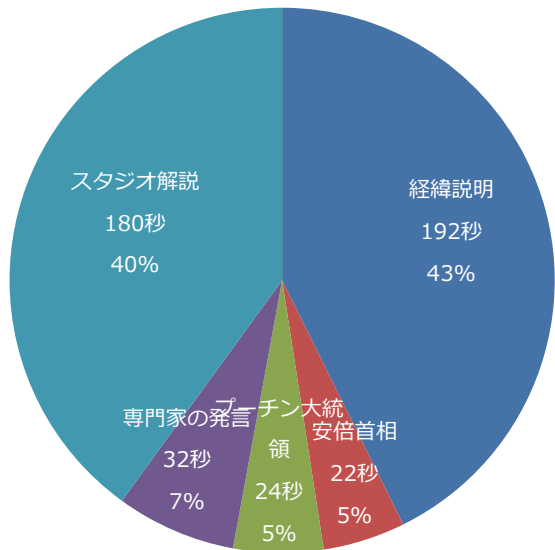
検証者所感

・入管難民法改正案

こうしたテーマで、なぜ要件定義ではなく安易に数量規制ありきで論じるのか、報道を見ていて不思議に思った。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2018年11月14日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：日露首脳会談、国会論戦、入管難民法改正案議論、EU 離脱問題、陸自の砲弾が演習場外に着弾		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日露首脳会談 ・名古屋高校野球部体罰問題 ・国会論戦 ・「原爆 T シャツ」で謝罪 ・臓器移植 進まぬワケ ・入管難民法改正案議論 ・「イッテ Q」やらせ疑惑 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> ・日露首脳会談 ・野球部体罰問題 ・GDP マイナス成長 ・EU 離脱問題 ・陸自の砲弾が演習場外に着弾 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日露首脳会談→結論：放送法第四条の見地から問題は見られなかった。 <p>今回は日露首脳会談について、論題となる平和条約交渉と北方領土問題の行方について伝えられた。今後の流れについては、日ソ共同宣言を基礎として日本政府の従来の方針とは違う形で進められる方向となることが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は450秒で、経緯説明・安倍首相の発言・プーチン大統領の発言・専門家の発言・スタジオ解説に焦点が当てられた内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



安倍首相とプーチン大統領の発言、専門家の発言は以下の通り。

安倍首相「特に重要な平和条約締結の問題についてしっかりと議論していきたいと思います。」

プーチン大統領「あなたが重視していることも含めてあらゆる協力関係について協議できることを嬉しく思う。」

ナレーター「領土問題についても協議に応じる考えを示しました。外務省で北方領土問題に携わった東郷氏は。」
東郷和彦氏（元外交官）「最後の非常に大きなチャンス。これが最後の交渉の機会だと思わなくちゃいけないと思います。」

ナレーター「実際、今回の会談で安倍総理は大きな歩み寄りを見せました。領土問題は今年9月、新たな局面に入りました。」

プーチン大統領「平和条約を締結しましょう。今すぐでなくとも、年末までに。前提条件無しで。」

ナレーター「年内に平和条約を締結しようという突然の提案。しかし、日本政府の立場は、まずは北方四島の領土の問題を解決し、その後平和条約を締結するというもの。プーチン氏の提案はこれと真逆。まずは平和条約を結び、領土の返還はその後の話し合い次第ということになります。プーチン大統領は本当は北方領土を返す気が無いのでは。しかし、ロシアに詳しい小泉氏はこう指摘します。」

小泉悠（未来工学研究所）「島を引き渡す意思がゼロかと言われたら、そうではないと思う。安倍政権のあとには対ロ政策に熱心な政権は現れないとロシア側は認識している。」

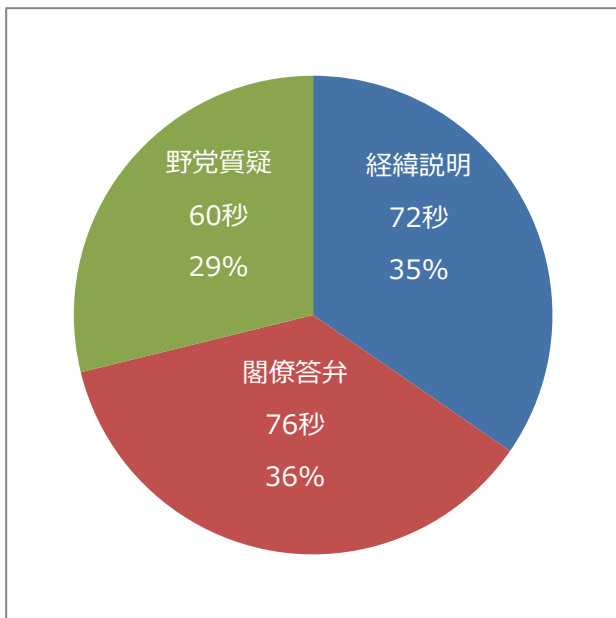
ナレーター「ただ、プーチン大統領の念頭にあるのは四島すべてのすべての返還ではなさそうです。プーチン大統領が繰り返し言及してきたのは1956年の日ソ共同宣言。まずは平和条約の締結を行った上で、その後歯舞と色丹の二島を引き渡すという内容です。東郷氏はプーチン氏が日本側に揺さぶりをかけてきたと見ています。」

東郷「本当に安倍総理は平和条約をやる気があるのかと。あるのであれば、ちゃんと決断してくださいというのが彼の真意だと思います。」

ナレーター「予定の時間を超えて一時間半ほど行われた今夜の首脳会談。総理とプーチン大統領は通訳を交え、

1対1で突っ込んだ議論を行ったということです。会談後、総理はある合意に達したと明らかにしました。」
 安倍「1956年共同宣言を基礎として、平和条約交渉を加速させることで合意しました。二島返還を前提にした日ソ共同宣言を基礎に交渉を加速させるとした総理。四島すべての返還は今後どうなるのでしょうか。」
 安倍「今回の合意のうえに戦後残されてきた懸案。平和条約交渉を仕上げていく決意であります。」
 安倍首相とプーチン大統領の発言は同率で、専門家の発言の時間配分としては公正であるといえる。
 今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・国会論戦→結論：放送法第四条の見地から問題なし。
 今回は閣僚のうち、片山さつき地方創生相と新藤義孝五輪相の二人を野党が追求する様子が伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は208秒で、経緯説明・閣僚答弁・野党質疑に焦点が当てられた内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



閣僚答弁と野党質疑の内容は以下の通り。

ナレーター「今日の国会審議はなにかと注目を浴びる二人の大臣が揃い踏み。まずは片山大臣。昨夜、片山大臣はマスコミに収支報告書を訂正したことを書面で報告。大臣就任後、三回目の訂正です。」
 今井雅人衆議（立憲民主党・市民クラブ）「まず国会に説明してどこが間違っていたかそれを説明するのが筋ではないですか。国会をバカにしているんですか。」
 片山さつき（地方創生相）「国会におかれましてはこの点につきまして今までお聞きいただいたことに謙虚に丁寧にお答えさせていただき所存でございます。」
 今井「これね、記載漏れ34件と驚くべき数字です。しかも今回三回目ですよ。」
 ナレーター「今井議員が片山大臣に辞任を迫ると。」
 今井「今回は身を引かれたらいかがですか。」
 片山「複数のチェック体制にするとともにますますきっちりと強化してマネジメントリスクに努めていきたいと思っております。」

ナレーター「次は国のサイバーセキュリティ戦略を担当している桜田大臣。意外な事実が明らかになりました。」

今井「自分でパソコンはお使いになっていらっしゃいますか。」

桜田義孝（五輪相）「私は 25 のときから独立して（事業を）やっておりますので、そういうことについては常に従業員、あるいは秘書に指示することでやっていますので自分でパソコンを打つということはありません。」

今井「パソコンを自分でいじったこともない方がサイバー空間のセキュリティ対策をするなんてとても私には信じられません。」

後藤祐一衆議（国民民主党）「サイバーセキュリティ戦略本部ではどのような役職を務めておられますか。」

桜田「副本部長であります。」

後藤「今、後ろを向いて官僚の方にご助言を頂いていましたが、ご助言いただくまでは知らなかったということですか。」

桜田「そのようなことはありません。本部長が官房長官で、副本部長が私であります。知っております。」

ナレーター「桜田大臣はサイバー攻撃を受けるきっかけがある USB が原子力発電所にあるかどうか聞かれます。」

桜田「基本的には使わない。」

斉木武志衆議（国民民主党）「あるかないかをお聞きしているのですけれども、使うとかいうものではないんですが。」

桜田「使わせないということで。」

斉木「ちょっとお分かりに。USB ジャックとはどういうものかご存知でしょうか。」

桜田「仮にあったとしてもそれは。万全の対応をすると。使う場合は穴に入れるらしいのですが。細かいことは私よく分かりませんので私よりも詳しい専門家に答えさせますけれどもいかがでしょうか。」

時間配分は極めて公平であると言える。しかし、野党の質疑内容については国会で行われるべき質疑であるか否かは疑問が残る。この点については所感の欄で詳述する。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・入管難民法改正案議論→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は入管難民法改正案について政府が受け入れ規模の試算を出したことが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は 75 秒で、経緯説明が中心の内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・EU 離脱問題→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は EU 離脱を控えたイギリスで、臨時閣議にかけられていることが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は 26 秒で、経緯説明が中心の内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・陸自の砲弾が演習場外に着弾→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は陸上自衛隊で訓練中に放たれた砲弾が演習場外に落ちたことが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は 20 秒で、経緯説明が中心の内容であった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

・国会論戦

国会論戦における野党質問について片山氏への質疑はともかくとして、新藤氏への質問については国会で行われるべき質問とは言えない感想を持った。野党側の質問の意図としては、サイバーセキュリティ担当大臣の食に対する新藤氏の資質に疑問を呈することであると思われるが、大臣が担当する分野に精通していなくてはならないというのは思い込みに近いものがある。パソコンを使ったことがないという新藤氏に対して原発の USB ジャックの有無を聞くなど、知識がないことをあげつらうかのような野党の質疑はいやらしさを感じた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年11月15日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：日露関係、カリフォルニア州の山火事とトランプ大統領、外国人材受け入れ サウジアラビアのジャーナリスト殺害事件、日テレヤラセ報道 千葉県の陸自が迫撃砲誤射、日韓首脳が立ち話、両陛下が厚真町を訪問</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日露関係 ・横綱稀勢の里、休場 ・カリフォルニア州の山火事とトランプ大統領 ・外国人材受け入れ ・山形県で4年前の男性殺害事件で元妻を逮捕 ・サウジアラビアのジャーナリスト殺害事件 ・日テレヤラセ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 日露交渉 稀勢の里が休場を発表 千葉県の陸自が迫撃砲誤射 日韓首脳が立ち話 両陛下が厚真町を訪問 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日露関係：結論→特に問題なし <p>日露関係について番組の冒頭で雨宮キャスターの「二島を先行させる形でついに北方領土の返還交渉が動き出すのか、そうも受け止められた昨日の日露首脳会談ですがまた冷水を浴びせられた形です。」という発言に対し駒田キャスターが「プーチン大統領は今日、交渉の基礎となる1956年の日ソ共同宣言について、引き渡し後の二島の主権については明記されていないと述べました。」と返したやり取りで導入の場面が構成され、これを承けて以下に朱記したものがVTRとして取り上げられた。</p> <p>記者「日本政府は従来北方領土の四島の一括返還を求める立場を基本的にとってきたと思いますけれど今回の合意で日本政府は歯舞・色丹島の島の先行返還を求める立場に変換をしたと考てよろしいのでしょうか。」</p> <p>菅官房長官「北方領土の帰属の問題を解決し平和条約を締結するという我が国の一貫した立場でありその点に変更はない。」</p> <p>ナレ「北方領土については二島ではなく四島の帰属問題を解決と強調した菅官房長官。ただ昨日行われた日露首脳会談の後、安倍総理が言及したのは。」</p>		

安倍総理「1956年、共同宣言を基礎として平和条約交渉を加速させる。」

ナレ「日ソ共同宣言はまず平和条約を締結した上で四島全てではなく歯舞色丹の二島を引き渡すという内容です。残る国後、択捉はどうなるのでしょうか。」

"記者「国後、択捉の帰属問題についてはどういうふうに整理しているのでしょうか。」

菅官房長官「日本側はここにいる平和条約の対象は四島の帰属の問題であると、ここは一貫して申し上げているとおりであります。」

ナレ「ロシア側が二島で押し切ろうとしても日本側はあくまで四島にこだわる姿勢。」

"ナレ「そんな中、今日記者会見したプーチン大統領は昨夜の安倍総理との会談についてこんな話を披露しました。」

プーチン大統領「きのう安倍首相の方から日ソ共同宣言を基礎として競技する用意があるとやってきた。」

"ナレ「二島にのみ言及している日ソ共同宣言のもとでの協議についてはロシア側ではなく安倍総理から提案してきたと主張したのです。さらに」

プーチン大統領「原則として共同宣言には二島を引き渡す用意があると書かれているが、その条件や主権がごちらに属すのかについては書かれていない。」

ナレ「仮に二島を引き渡したとしても主権を渡すとは限らない、というのです。主権を渡さない領土の返還という形がありうるのでしょうか。」

このVTRを承けて、スタジオでは雨宮キャスターが「昨日の安倍総理の発表を聞いて、えっ四島一括返還ではなく、二島を先行した返還もありうるのかと驚きましたが、今日のプーチン大統領の発言を聞くと実質これ、ゼロ島返還ではないか、ということですね。」とコメントし、これに星キャスターが「そうですねまあ冷水を浴びせられた形ですけども、だいたいプーチンさんはこの問題は安倍さんから提案があったという中身をバラしちゃってますからね、いってるわけですからそれにまあロシア側は付き合っているんだということですよ、それからこの56年宣言について歯舞色丹を引き渡しても主権については日本なのかロシアなのかはっきりしませんよ、と場合によってはゼロ島返還かも知らんよ、というところまで強硬姿勢にでているわけでそういう意味ではこういう厳しい姿勢でこれから交渉に臨みますよっていう姿勢ですよ、プーチンさん、ですから安倍総理も前のめりになると足元を見られる、ということですよ。」と答えていた。

このトピックに当てられた時間は253秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

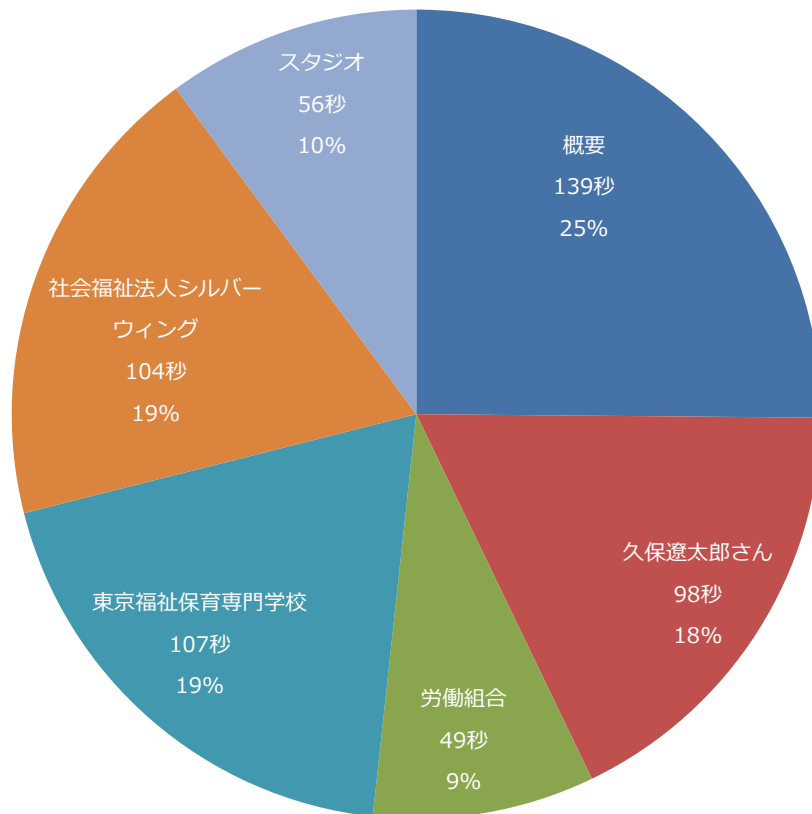
・カリフォルニア州の山火事とトランプ大統領：結論→特に問題なし

アメリカのカリフォルニア史上最悪の被害が出ている山火事、火の手はハリウッドスターなどが多く住む街にも及びセレブたちが惨状を訴えていること、トランプ大統領は当初はTwitterで「森林管理がおそまつだ、改善しなければ連邦予算は出さない。」とコメントしていたが、これに対しレディー・ガガが「前から分かっていたが独りよがりな人だ、大統領、少しはカリフォルニアの人たちに思いを寄せて、この国が思いやりのある国だということに模範を示しなさい。」と、レオナルド・ディカプリオが「山火事が悪化しているのは気候変動と歴史的な干ばつのためだ、被災者を助け、火事に対処する努力を党派対立の問題にするべきではない。」と反発し、こうした批判を意識してか、トランプ大統領も「こんなのみたことがない、我々は失われた命を悼み、犠牲者のために祈りをささげる。」と、態度を一転させたとのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 294 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・外国人材受け入れ：結論→高く評価

今の国会で最大の問題となっている外国人労働者の受入問題について、政府は昨日、今後、この五年間に受け入れを検討している職種と人数を示したこと、その上位 3 つについて 3 位は建設業で四万人、2 位は外食業で 5.3 千人、そして最も多く外国人を受け入れる見込みなのが介護業で最大六万人となっていて、いずれも人手不足が深刻な職種ですが一方で今まさにその仕事についている人たちからは不満と不安の声が上がっているとのことが伝えられた。このトピックについて概要が説明されたシーン、介護士でもうじき一児の父となる久保遼太郎さんへのインタビュー、介護士などによる労働組合の意見、東京福祉保育専門学校の様子、介護の環境改善を行う現場の一つである社会福祉法人シルバーウィングの様子、VTR を承けてのスタジオでの議論という場面に大別された。このトピックに当てられた時間は 553 秒で、それぞれの場面に当てられた時間配分及び比率は以下の通りであった。



久保遼太郎さんについては来月には一児の父となる介護士という紹介ともに「不安ですね、やっぱり。一人の給料で家計を支えていくっていうのはなかなか厳しい。」というコメントが取り上げられていた。また、以下に朱

記したインタビューが取り上げられていた。

ナレ「都内で介護士として働く 28 歳の久保さん、間もなく男の子の父親になりますが、収入に不安を感じています、」

久保遼太郎「こちらになります。月収が 25 万から 26 万で手取りが大体 18 万から 19 万くらいになっています。」

ナレ「妻も介護士で妻も介護士で今は産休中。夫婦合わせても手取りは月に三十万になります。」

久保遼太郎「検診に行く費用に関してもかなりやっぱり家計には響くものがあったりやっぱりその生まれたあとのことを考えても不安がかなり大きいとおもいますね。」

ナレ「久保さんはたとえ外国人労働者が介護の現場に加わっても今の待遇が変わることはないと考えています。」

久保遼太郎「外国人の方が入ってくるから自分対地の給料が上がらなくなるかと言うと、上がりづらくはやっぱりなってくるのかな。」

労働組合については今日午前厚生労働省に待遇改善を求める要望書を手渡したことが伝えられたほか、日本医療労働組合連合会の三浦宜子中央副執行委員長の「今、あの、まさに外国人労働者の問題が話題になっていまして、安上がりな労働力として外国人の人を受け入れてやればいいというようなことでは本当に介護現場は持たないと思います。」というコメントや日本医療労働組合連合会の米沢哲中央執行委員の「外国人そのものが来て働くということ自体は否定はしないんですけど、その前に介護の現場で働き続けられる、そういう環境を作っていないと問題の根本的な解決にはならないだろうな。」というコメントが取り上げられていた。

東京福祉保育専門学校については以下に朱記した様子が VTR で取り上げられていた。

ナレ「都内にある介護福祉士の養成学校、全校生徒 96 人のうち 83 人が外オック人留学生です。この学校では昨年度から感じに読み仮名を降った教科書を使い始めました。介護福祉士養成施設への入学者は減る一方ですが、外国人留学生は増え続け全体の 6 分の 1 を占めるまでになりました。」

ミャンマーからの留学生「自分の国の介護学科の先生になりたいので、給料が少なくても自分が選んだからそんなに関係はありません。」

ベトナムからの留学生「給料はあのちょっとあんまり高くない絵 k レド生活で楽しく一緒に参加したいとおもいます。」

ナレ「この学校では昨年、生徒たちの就職率は 100%、今年も留学生を含めほぼ全員仕事先が決まっていると言います。」

ナレ「それでも」

泉二奈緒美（東京福祉保育専門学校教務課主任）「六万人入れれば介護の人手が足りるという問題ではないと思っています。多い数字ではないと思っています。」

社会福祉法人シルバーウィングについて以下に朱記した様子が VTR で取り上げられていた。

ナレ「人手不足をどう補うのか、介護現場でも様々な工夫が始まっています、都内にある特別養護老人ホーム。職員の腰には見慣れない g 器具がついています。」

職員「今、車椅子がいきますからね。」

ナレ「これは腰などに係る負担を軽減するロボットスーツ、一年前に導入されて依頼職員からは好評を得ています。」

職員「常に仕事中はつけていますね、後ろで釣り上げてくれる効果があるので腰痛の軽減になる。」

ナレ「更にこちらのベッドにもある仕掛けが。ベッドの半分が切り離され、背中を起こすと車椅子に早変わりしました。このまま食堂に移動していきます。こうした最新の機器は人手不足を補うに一定の役割を果たしています。しかし、この施設でも来年から外国人介護士受け入れを検討しています。」

石川公也（社会福祉法人シルバーウィング）「どうしたらですね、人が増えるかだね、それはなかなか難しい、やっぱり介護報酬が増えてそれに見合った賃金を払えるようになればということになってくると思うんですけども。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられた。

雨宮塔子「VTRにあったような最新機器を入れて労働環境が改善されてさらに賃金ももう少し上がれば離職者が減りますからそうすると人手不足も少しは解消されるのではと思いますけどね。」

星浩「現実には不足分を外国人労働者で埋めようということでこれによって賃金を抑えようという動きもあるわけですよ、そうすると賃金を押さえられると待遇が良くないから、介護士のなり手が少なくなってますます人手が少なくなるという悪循環に入りつつあると思うんですよ。」

駒田健吾「それから、今からおよそ25年後ですか、高齢化のピークがすぎるとも言われていますか、そうなると思います、その介護士の需要が、ますますと言いますか、その時点で減るという可能性ありますよね。」

星浩「そうですね、外国人の分をその雇用の調整の枠に使おうってなるとちょっとその外国の人もいずれ自分たち御用済みになるんだからと思うなかなか来にくくなりますからね、その全体状況というか将来展望を説明する必要があると思うんですよ。」

介護という切り口から様々な関係者の声を取り上げており、放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点で高く評価できるものだった。

・サウジアラビアのジャーナリスト殺害事件：結論→特に問題なし

サウジアラビアのジャーナリスト、ジャマル・カショギ氏の殺害事件でサウジアラビアの検察当局はこれまでに11人を起訴しうち5人については死刑を求刑する方針を明らかにしたこと、検察当局はムハンマド皇太子に近い、サウジ情報機関のアシリ元副長官がカショギ氏を連れ戻すためのチームにトルコに派遣したとしているが、カショギ氏の殺害を決めたのは現場のリーダーだったとしてムハンマド皇太子の関与は否定しているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は34秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・日テレヤラセ報道：結論→特に問題なし

日本テレビのバラエティ番組、世界の果てまでイッテQの祭り企画でヤラセをした疑いがあると週刊文春が報じた問題、日本テレビの大久保社長は会見でヤラセの意図はなかったとしたうえで現地のコーディネーターに責任はなく「放送責任はすべて日本テレビが負う。疑念を生み、申し訳ない。」と謝罪したこと、祭企画については当面休止するとしていることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は36秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・滋賀県の陸自が迫撃砲誤射：結論→特に問題なし

滋賀県にある陸上自衛隊の演習場で、迫撃砲が近くの国道付近に着弾し車が破損した問題で隊員が発射機の設

定を誤るなどした人為的なミスの可能性が高い事がわかったとのこと、高島市の福井市長は実弾を使ったすべての訓練を当面中止するよう要請したことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 24 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・日韓首脳が立ち話：結論→特に問題なし

シンガポールでの国際会議に出席している安倍総理が今日、会議で同席した韓国のムン・ジェイン大統領と二回立ち話をしたことがわかったこと、一回目は挨拶程度で握手をし、二回目は立ち話だったということで、韓国最高裁の徴用工をめぐる判決依頼はじめての二人の接触ですが判決に言及したかについては明らかになっていないとことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 27 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・両陛下が厚真町を訪問：結論→特に問題なし

天皇皇后両陛下が今年 9 月に最大震度 7 を観測し 36 人が犠牲になった北海道厚真町を訪問され被災者らを見舞われましたこと、被災地への訪問は今回が最後になる見通しであることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・カリフォルニア州の山火事とトランプ大統領

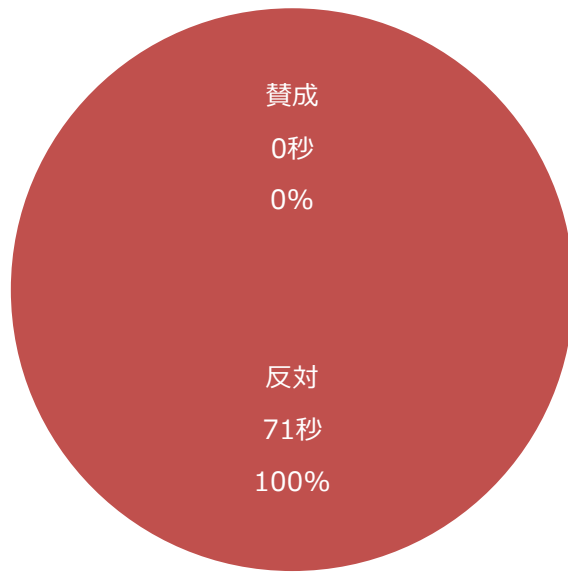
レディー・ガガの「前から分かっていたが独りよがりな人だ、大統領、少しはカリフォルニアの人たちに思いを寄せて、この国が思いやりのある国だということに模範を示しなさい。」というコメントについて、「思いやりのある国だということに模範を示す」というのがポケットマネーから寄付するというのであれば理解できるが、とどのつまり他人から集めた税金に過ぎず自分のお金ではない連邦予算でどうこうするというを意味するのであれば、それは「思いやり」とは違うのではないか、という気がした。

・サウジアラビアのジャーナリスト殺害事件

この事件を巡ってはムハンマド皇太子の名が度々取り沙汰されていたが、このムハンマド皇太子とはなにものなのか、その人となりやムハンマド皇太子を取り巻く力関係というのはほとんど触れられておらず、そのため事件についての理解も深まらず、やや物足りないものであった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年11月16日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：外国人材審議入りできず、ふるさと納税ルールに戸惑い、移民キャラバン国境到着 北方領土問題で安倍首相「従来姿勢と矛盾しない」、中国で先端技術展覧会 新閣僚の資産公開、記者の入構許可証問題でCNNの主張認める</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人材審議入りできず ・ふるさと納税ルールに戸惑い ・移民キャラバン国境到着 ・北方領土問題で安倍首相「従来姿勢と矛盾しない」 ・中国で先端技術展覧会 ・パイロット飲酒問題で日航と全日空が再発防止策 ・スーパーで女性店員刺される ・新閣僚の資産公開 ・スポーツ情報 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 外国人材審議入りできず ふるさと納税ルールに戸惑い 女性の切断遺体で息子に事情聴取 吉澤ひとみ被告免許取り消し 医学部の団体が不正入試で指針 ・天気予報 ・記者の入構許可証問題でCNNの主張認める 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人材審議入りできず→他放送日との総合的な判断が必要 <p>失踪した技能実習生を対象に法務省が行った調査の結果に誤りがあることが判明した結果、外国人労働者の受け入れ拡大を目指す法案の審議入りが来週以降に先送りになったことについての報道。このトピックの報道時間は331秒で、一連の誤りについて肯定的な意見を賛成。否定的な意見を反対として集計したところ以下のような比率及び時間となった。</p> 		



否定的な意見としては立憲民主党の山尾志桜里衆院議員の「致命的なミス、あるいは許しがたい改ざん。そう言ったことが考えられる大変深刻な話です。法案の審議の根幹部分がひっくり返った。」との発言などが報道されていた。また自民党の葉梨康弘法務委員長は山尾議員に対して「深刻な話というのは私もよくわかりますので。私自身も深刻な話だと思う。」と述べていた。肯定的な意見は皆無だった。

これらを受けてコメンテーターの星浩氏は「どうもこれを見ると、質問の仕方も集計の仕方も相当ずさんだということですよ。今回、技能実習生から新しくできる特別技能の方に移る人が多いんですよ。そうすると、技能実習生っていうのは実態がどうだったのか総括する必要があると思うんですが、総括するデータがこの調子ではなかなかきちんと総括できないと思うんですよ。労働の規制緩和のときも相当、裁量労働制のデータミスがありました。あまりその教訓が生かされていない感じですので議論の共通の土台になる話ですからね、しっかりとチェックしてもらいたいと思いますね。」とコメントしていた。

反対意見が100%と大きく反対意見に偏っており放送法第四条第一項二号の「政治的に公平であること。」に抵触している恐れがあるものの、自民党の葉梨議員のコメントなど一定の多角性は保たれており他放送日との総合的な判断が必要と考える。

・ふるさと納税ルールに戸惑い→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

ふるさと納税で自治体間の寄付金獲得競争が問題となっていることについて総務省がルールに違反した自治体の名前を公表したことについての報道。公表された都市のひとつである大阪箕面市の栗生勝成営業室長は「(1万円寄付で)2本で2800円に消費税8%。3024円。24円超えている。」と厳密さを嘆いていた。このトピックスは270秒報道され特に問題点は見当たらなかった。

・移民キャラバン国境到着→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

中米諸国からアメリカへの移住を目指している大規模集団のキャラバンがアメリカと国境を接するメキシコの

町に続々と到着していることについての報道。キャラバン参加者の一人は「神が許してくれればあと何日かでアメリカンドリームが叶うんだ。」と述べていた。一方でアメリカとの国境の町であるメキシコのティファナ市では衝突も発生し市民たちが「この国に入ってきちゃダメ。出ていきなさい。」や「帰れ。帰れ。」などと声を上げていた。またティファナ市の当局者は「今来ているキャラバン参加者達もどこかへ収容しなければならない。2～3000人が来たらスペースがなくなります。」と述べていた。なおこのトピックスの報道時間は201秒で賛否が分かれる点や問題点は見当たらなかった。

- ・北方領土問題で安倍首相「従来姿勢と矛盾しない」→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

安倍総理大臣が外遊先で記者会見を行いロシアのプーチン大統領との首脳会談に関連し北方四島の帰属が確定した後にロシアと平和条約を締結するという政府方針に変わりがないことを強調したことについての報道。安倍総理は会見上で「今回の1956年宣言を基礎として平和条約交渉を加速させるとの合意は領土問題を解決して平和条約を締結するという従来のが国の方針と何ら矛盾するものではありません。」と述べていた。」この発言を受けて星浩氏は「従来、日本政府は56年の日ソ共同宣言について、これは歯舞、色丹を引き渡すということなんですが、それを出発点にする、例えば2001年のイルクーツク声明では出発点にすると言ってきたんですね。これによって出発点からどんどん外交努力を積み重ねようという作戦だったわけです。ところが、今回、安倍総理の発言はこの56年宣言を基礎としてというふうに変まって、つまり、出発点が基礎に変わって、どうも基礎の上にあるのは歯舞、色丹の2つだけじゃないかと、そういう疑念も生んでいるんですよ。いずれにしても、安倍総理、この出発点と基礎の問題を含めて、国会できちんと説明してもらいたいと思いますね。」とコメントしていた。この報道時間は152秒で放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・中国で先端技術展覧会→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

中国で先端技術を披露する展示会がシンセン市で開かれたことに絡めて米中との貿易戦争の影響について報じられていた。アメリカとの技術協力について問われた中国の航空宇宙技術関連の企業担当者は「一定の技術交流はあります。なぜかというアメリカの技術は最先端だからです。」と答え米中での貿易戦争については「危機感はある。」と話していた。このトピックスは273秒で賛否が分かれる点や問題点は見当たらなかった。

- ・新閣僚の資産公開→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

先月の内閣改造で新たに入閣した13人の閣僚の資産が公開されたことについての報道。また桜田大臣が公開した資産を訂正し、美術工芸品として刀剣5振りを追加したことについても報じられていた。同報道は34秒で放送法第四条の見地からは問題点は見当たらなかった。

- ・記者の入構許可証問題でCNNの主張認める→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

CNNテレビがトランプ大統領らを相手取りホワイトハウスが記者の入構許可証を取り上げたのは報道の自由の侵害に当たるなどと提訴した問題で、ワシントンの連邦地裁はCNN側の主張を認めホワイトハウスに対し記者の入構許可証を一時的に回復するよう命じたことについての報道。このトピックスは33秒報じられ特に問題

NEWS23 週刊報告 詳細版

点や賛否が分かれる点は見当たらなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感
特になし